

# 野外イベント、スポーツなど エコ活動に“お墨付き” 環境省 認証で意識浸透狙う

プロスポーツやコンサート、演劇などで実施される温室効果ガス

排出削減などの環境配慮活動を、第三者が認証・登録する仕組みを環境省が作ることになった。7月までに実施指針をまとめる。サッカーのJリーグや劇団四季などが参加する方向という。

7月の北海道洞爺湖サミット開催で高まる国民の環境意識を持続させる狙いで、野外イベント、スポーツ、文化芸術の3分野で実施指針を作る。

開催前の計画段階での取り組みを審査・認証し、開催当日に再び審査する。イベント参加者に働きかけ、環境行動に巻き込む具体策が計画に盛り込まれているかどうかを重視する。環境省所管の財団法人「地球環境戦略研究機関・持続性センター」が認証にあたる第

三者機関となる。

また、認証制度に基づき温室効果ガス削減実績を排出枠として売買する制度の創設も検討する。

対象事業場の二酸化炭素や廃棄物排出量、水の使用量などを点検し、重点的に取り組む分野を把握する。

同センターエコアクション21中央事務局の森下研・事務局次長は「イベント参加者の環境行動を促すことができれば、大きな成果が期待できる」と話す。

【山田大輔】